



当麻山の麓で、100種以上の花の彩りを魅せるのが花育の拠点「くるみなの庭」。

子どもにとって美しい花や緑の中で遊ぶことは、豊かな感性を育てます。また植物が“色をつける”ことは、生きていることであり、それを知ることによって優しさや思いやりの心が養われます。

大人も美しい景色の中、子どもが元気に走り回る姿に心癒され、時には童心に返り、思い切り遊ぶことで笑顔がこぼれます。「くるみなの庭」は笑顔があふれる場所です。



くるみなの庭 (当麻町市街6区)
 営業時間 / 9:00 ~ 17:00
 冬期休業 (10月下旬 ~ 4月中旬)
 入場料 / 無料

「発見・冒険・体験・創造・好奇心」がコンセプト。地形や自然を生かした遊具は、子どもが自由な発想で、伸び伸びと遊べます。

実をつける植物を育てているのも特徴の一つ。自由に摘み取り、口にすることができず。

目で自然の美しさを見て、耳で自然のささやきを聞き、肌で自然に触れ、口で自然を味わい、鼻で自然の香りを感じ取る、くるみなの庭では、ぜひ五感を最大限に生かして自然を楽しんでください。

“くるみな”とは人が集まり、たくさん笑顔があふれる場所(26ページ参照)。笑顔は心に潤いを与えます。生息する花や植物、遊具だけが「くるみな」ではありません。そこに集う人の笑顔も“庭”の大切な一部です。



幼少期から本に親しむことで、読書への関心向上を図る「子育て支援図書贈呈事業」。1歳から15歳までのお子さんを対象に、毎年誕生日に本をプレゼント。贈呈図書は、年齢に応じて町立図書館と学校図書が選んだ数冊の中から、読みたいと思う本を選ぶことができます。

6歳までのお子さんには図書と併せて、町の特産品であるバラもプレゼント。さらに、初めての誕生日を迎える1歳児には、絵本とバラの他、町産木材で作られたフォトスタンドと当麻町を中心に活躍するイラストレーターよこおまきさんが描く似顔絵を町長が届けます。町産の花と木に幼い時期から触れることも花育、木育です。(子育て支援の詳細は31ページをご覧ください)



培われた技術により生まれる美



最北限のバラ産地でありながら、生産者の努力と技術により、市場の高い信頼と評価を得ている「大雪の薔薇」。

寒暖の差が、果実に甘みを与えるのと同様に、当麻の気候が、バラの色に美しさを与えます。

高温多湿は、バラにとって天敵。本州方面のバラは梅雨入りする6月から9月までは生産量とともに品質が落ち込みます。この時期に良質なバラを提供できることから、大雪の薔薇は「夏バラ日本一」と評価されています。

町花である「キク」は、約60年という長い歴史の中で栽培され続けています。代々受け継がれて培った生産者の高い技術力と、JA当麻の選別技術は、市場からの信頼も厚く、全道屈指の生産量と品質を誇っています。



🌸🌸 心に潤いと優しさを

夏には美しい花、冬には煌びやかなイルミネーションが店先を彩る、町のお花屋さん「花工房 比呂」。店内にも美しい花をはじめ、店長の中島大智さんが造るプリザーブドフラワーやハーバリウムが並び、花の優しい色合いと、淡く立ち込める香りに心が癒されます。

町内で唯一、大雪の薔薇を取り扱う比呂さんは、町が1歳の誕生日に絵本と合わせてプレゼントするバラの花束（17ページ参照）の製作も担っています。アレンジメントに定評がある比呂さんのバラの花束は、受け取った家族全員を笑顔にします。

生産者、商業者が一体となり取り組む当麻の花育は、町民皆さんの心に潤いと優しさを与えることを目的に進められています。



魅力あふれるお店作り

「まちの顔」である商店街。商工会を中心に、地域に密着した経営努力に力を注ぐそれぞれ姿があります。

健全経営の促進と環境整備の推進に、関係機関が一体となつて努めています。

商業の活性化には地域に根付いた企業の応援はもちろんのこと、新規出店者への門口を広げることも重要。「とうまのお店元気事業」では、上限300万円で店舗の新築・増改築費などを助成しています。新規出店者にも活用されており、魅力あるお店づくりの一翼を担っています。

また、活力あるまちづくりを推進するためには、就労の場の確保が重要です。企業立地を推進するほか、経営基盤強化の取り組みを支援し、地場産業の育成と健全経営の促進に努めています。



人の力が“花”となる

町内の飲食店活性化のために商工会が作成しているのがグルメ観光マップ「ひるとうま よるとうま」。表を昼、裏を夜に営業する飲食店に分けて、店舗情報を紹介しています。また、掲載されている店舗を実際に商工会員が訪れ、紹介していく企画「ひるとうま よるとうま」は、当麻町ユースチューブチャンネルと広報紙で公開しています。

まちの活性化には「若者の力」も欠かせません。商工業、農業などの青年層で組織する「当麻町青年会議」は、町内イベントでの出店やボランティア、冬のまちなかを美しく彩る「キャンドルライトフェスティバル」を独自開催するなど、町の盛り上げに一役買っています。

マンパワーという花が、町に彩りを与えています。